

【図書館の利用状況と、今後の指導性発揮について】

問 改修新設した経過、その目的等について

答 改修前の図書室は2階にあり、利用者が少ない状況にあったため、利便性がよく、利用しやすい図書室になるよう1階にあった文化財室に移転させることにした。

また、新しい図書室はさらにスペースが狭くなることから、利用対象者を絞った図書室とすることで魅力を高めるため、コンセプトを「子どもと子育て世代にやさしい図書室」とし、子育て世代の交流の場となる機能も持たせるよう整備を進めた。

問 新本、諸雑誌類に係る経費について

答 中央公民館図書室の図書購入費として本年度50万円の予算を計上している。なお、合わせて県立図書館から絵本を1,500冊借りるなど、本の充実に努めている。

問 全国的利用の現状との比較について

答 多様な図書をそろえた蔵書数の多い充実した図書館と、本町の公民館の図書室とは、その規模も性格も違うので、利用人数などでの単純比較は難しい。

ただ、利用者が大幅に増加していることは確かであるし、特に目立つのが子ども連れの利用者の増加であり、整備した目的が果たせているのではないかと考えている。具体的には、従前の

図書室の利用者数は、年間に40〜50人程度であるが、現在は月平均で560人程度となっており、その内、幼児・小学生の占める割合が約40%である。

問 ついたての利用等について

答 スペースが限られているので、快適な読書環境の整備には限界があると思うが、コンセプトである「子どもと子育て世代にやさしい図書室」となるよう整備に努めていきたい。

問 正式な図書施設の構想について

答 現在のところ図書館の整備計画はない。

【特産のキジ飼育増とキジ肉販売の増大策について】

問 取り組みを開始した年月および、その時点での飼育農家数、飼育羽数について

答 本町がキジの飼育を開始したのは、旧広見町時代であり、グリーンファーム安森から処理加工施設の運営を引継いだ平成14年7月である。その時点での飼育農家は5軒、飼育羽数は少ないところは300羽、多いところは3,000羽で、全体で約1万羽であった。

問 当初の構想の中での現時点の到達度について

答 当初の構想では、目標を3万羽としており、平成16年度には約2万羽、約67%に達していたが、景気の低迷や震災の影響もあり、現在は1万2,000羽、到達度約40%となっている。

問 キジの宣伝、取組みの細かさや忍耐力について

答 県内において「鬼北町のキジ」、「キジといえば鬼北町」といわれるようになり、徐々に認知度は広がっている。

キジの産卵時期は、4月から6月までと限られており、また、飼育期間もブロイラーでは40日から50日なのに対し、キジは200日かかることから、単価が高くなり、スーパーなどでの取り扱いには難しく、現在の主な販売先は料理店、ホテル等になっている。

しかし、日常的に利用いただくことが売上につながっていくので、新たに利用できる部位の商品化、また、少しでも低価格の商品を提供できるよう努力している。また、低価格で購入できる代替飼料の検討や自家飼料生産の取り組みを進めている。

平成14年からの経営では赤字が続く厳しい状況にあったが、平成23年度には約500万の黒字となった。今年度は10月現在、前年比約16%の売上増となっており、平成24年度も黒字を見込んでいる。

【あいさつ運動、会話増大に向けた町民運動としての行政側のリーダーシップについて】

問 行政側の積極的対応について

答 町内小学校では「あいさつ運動」に取り組んでいるところが多く、地域の行事等においても、住民の方が相互にあいさつを交わしている光景をよく見かける。また、役場においても、あいさつの励行を徹底し、地域の模範となるよう努めている。

なるよう努めている。

しかし、住民同士が様々な場面で、自然に誰とでも気軽にあいさつができるまでには至っていない現状にあるので、引き続き役場内から「あいさつ運動」を推進し、合わせて、住民の皆さんへも機会を捉えて、あいさつによる「地域の絆づくり」を呼びかけていきたい。

【バス待合所の計画的改善について】

問 現在のスレートづくりを手を加える方法がベストなのか。ブリキ利用の検討について

答 スレートが破損している箇所にはスレートを新しい、トタンが破損している箇所にはトタンを用いるなど、同様の部材で修繕することが景観的にもふさわしく、また、経費的にもスレートやトタンは安価であるので適切だと考えている。

問 現状を踏まえての対応について

答 現在、町が管理しているバス待合所は42箇所ある。その半数近くが建築後25年以上経過しており、スレートやトタンが破損しているバス待合所も多くなっているのが実情である。厳しい財政状況ではあるが、限られた予算の中で、優先順位を付けながら最善の維持管理ができるよう努めていきたい。

問 破損看板、不要物の撤去について

答 バス待合所内に放置してある物品等やポスターなどは無許可のものがほとんどだと思われるので、できるだけ早く撤去するようにしたい。